

NEWS RELEASE

平成29年 7月24日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

「とちぎ地域活性化ファンド」による出資について —廃業ホテルのリノベーションで地域の観光を活性化—

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本淳之介）と株式会社とちぎんキャピタル（代表取締役 齋藤隆）が平成27年2月に設立した「とちぎ地域活性化投資事業有限責任組合」（通称：とちぎ地域活性化ファンド（運営会社：株式会社とちぎんキャピタル） 以下、「本ファンド」とする。）は、株式会社なごみコーポレーション（代表取締役 神尾和彦）（以下、「同社」とする。）に対する出資を決定しましたので、お知らせします。

近年、中国・ASEAN地域に対する観光ビザの緩和などを背景とし、訪日観光客は増加傾向にあります。また、会社をリタイアし余暇を楽しむ65歳以上の高齢人口についても、増加傾向にあります。そのような中、平成30年にJRグループ6社が協働で取り組む、国内最大規模の観光キャンペーン『「本物の出会い 栃木」 デスティネーションキャンペーン』、平成32年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が控えており、栃木県には今後ますます多くの観光客が訪れると予想されます。

このように栃木県の観光が盛り上がりを見せる中、同社は、日光・中禅寺湖畔で廃業したホテルを買取・リノベーションし、新たに「旅籠 なごみ」として平成29年8月にオープンさせます。

同ホテルは、廃業ホテルのリノベーションにより初期投資を抑えたことや、泊食分離の採用で、宿泊料金の低減を図る方針です。廃業ホテルの再利用は全国的に問題となっている空き物件の有効活用になり、また、新規ホテルのオープンは地域の雇用創出に寄与するなど、地域活性化を支援する本ファンドの運用趣旨と合致することから、今回出資を行い、観光で地域の活性化を目指す同社の発展を支援いたします。

本ファンドは、「とちぎん地域産業創生プログラム」（注1）の一環として設立したものであり、創業・新事業または将来成長が見込まれる地域企業に対し、「株式による出資」と併せ、栃木銀行グループの多様なネットワークを活用して企業の経営を全面的に支援する等、事業の持続的な成長発展・雇用の創出を目的としております。

（注1）平成27年2月に国の「まち・ひと・しごと創生法」にもとづく、地方創生、地域活性化の役割を担うため、地域産業の育成を目的に策定した当行独自のプログラムです。

NEWS RELEASE

【出資先概要】

出資先	株式会社なごみコーポレーション
代表者	代表取締役 神尾 和彦
本社所在地	栃木県栃木市平井町209-2
設立	平成28年12月
事業内容	宿泊施設経営
出資日	平成29年 7月24日

【ファンド概要】

名称	とちぎ地域活性化投資事業有限責任組合
ファンド総額	10億円
出資者	株式会社 栃木銀行 株式会社 とちぎんキャピタル
投資形態	株式による出資（普通株・種類株等）
投資対象	栃木銀行営業区域内で事業を営む未上場企業のうち、創業・新事業または将来成長が見込まれる企業等
運営会社	株式会社 とちぎんキャピタル

【ファンドスキーム図】

